

1 法人の概要

代表者職氏名	代表取締役 福原 幸成	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野73-2	設立年月日	昭和44年7月22日
電話番号	0187-46-2011	ホームページ	www.tazawako-ski.com
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	179,250	45.8%
	仙北市	62,600	16.0%
	羽後交通(株)	48,500	12.4%
	その他84団体	101,375	25.9%
	合計	391,725	100.0%
設立目的	スポーツおよびレクリエーション活動振興を図り、もって県民の健康増進および観光の振興に資する。		
事業概要	・特殊索道事業・食堂・売店・レンタルスキー・スキースクール		
事業に関連する 法令、県計画			

2 H26年度事業実績(前年度評価を踏まえた取組内容を含む。)

モーグルワールドカップの開催によりレストラン利用は大幅に増えるものと予想したが横ばいだった。またスポーツセンター部門の収入が対前年度比で91%と悪いこととイベント協力によるスキー学校収入の減少が全体の実績を厳しいものにした。来期は今期の反省を踏まえイベントに係る協力と収入の確保をしっかりと行う。

<事業目標>

項目	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
入場者数(千人)	目標	115	115	100	100
	実績	102	98	100	-
売上高(千円)	目標	404,000	407,000	410,000	401,705
	実績	388,107	403,050	393,782	-
顧客満足度指数	目標	81	82	85	80
	実績	80	75	71	-

3 組織

①役員数(H27.7.1現在) (単位:人)

区分	取締役		監査役		役員報酬
	H26	H27	H26	H27	
常勤	2	2	1	1	支給対象者 (H26年度) 3人
内、県退職者					
内、県職員					
非常勤	4	4	1	1	平均年齢 68歳
内、県退職者					平均報酬年額 (H26年度) 2,594千円
内、県職員	1				
計	6	6	2	2	
内、県関係者	1				

②職員数(H27.4.1現在) (単位:人)

区分	H26	H27	正職員
正職員	10	10	
内、県退職者			
出向職員			平均勤続年数 10年
内、県職員			
臨時・嘱託	13	11	平均年収 (H26年度) 3,000千円
内、県退職者			
計	23	21	
内、県関係者			

③取締役会回数

H25	4	H26	4
-----	---	-----	---

4 財務

①損益計算書 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
売上高	403,050	393,782
売上原価	47,243	47,254
売上総利益	355,807	346,528
販売費及び一般管理費	357,378	370,411
人件費(売上原価含む)	162,072	182,398
営業利益(損失)	△ 1,571	△ 23,883
営業外収益	4,396	6,099
営業外費用	134	59
経常利益(損失)	2,691	△ 17,843
特別利益		3,246
特別損失		70
法人税、住民税・事業税	1,677	1,551
当期純利益(損失)	1,014	△ 16,218

②貸借対照表 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
流動資産	130,812	131,521
固定資産	164,143	146,518
資産計	294,955	278,039
流動負債	11,916	18,084
短期借入金		
固定負債	14,682	7,816
長期借入金	5,000	2,000
負債計	26,598	25,900
資本金	391,725	391,725
利益剰余金等	△ 123,368	△ 139,586
純資産計	268,357	252,139
負債・純資産計	294,955	278,039

(単位:千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	6,723		

※中小企業退職共済制度へ加入している。
要支給額は中退共済を除いた額。

<主な経営指標>

項目	算式	平成25年度	平成26年度	H25-26増減
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	100.7%	95.7%	△ 4.9%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	1097.8%	727.3%	△ 370.5%
自己資本比率	純資産計÷負債・純資産計×100	91.0%	90.7%	△ 0.3%
有利子負債比率	有利子負債÷純資産計×100	1.9%	0.8%	△ 1.1%

5 県の財政的関与の状況 (単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金			
委託費			
指定管理料	34,033	31,553	秋田県田沢湖スポーツセンター指定管理業務・玉川園地駐車場管理業務
年度末残高			
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B スキー場においては全日本スキー連盟行事並びに秋田県スキー連盟行事や各学校のスキー教室の対応が十分できた。また、スポーツセンターにおけるセカンドスクール事業など公共的役割を担った。	A スキー場における安全確保及びスポーツセンターの施設管理や玉川園地駐車場の管理等、それぞれ人員組織体制は十分であった。	B ワールドカップ等のビッグイベント効果によりリフト収入及びレストラン部門の収入は昨年並であったが、スポーツセンターにおいては各イベント数は確保できたものの参加人数が減少しているため宿泊者数が減となった。	C 今期の損失額16,218千円の大きな要因は退職金20,000千円であることから今後はより一層のコストコントロールをすることで累損の減に繋げることが可能である。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 県関与の縮小に位置付けられている法人であるが、スキー連盟の公式行事を開催したり、学校のスキー教室を行うなど一定の公共的役割を担っている。	A 取締役会は4回開催されており法定回数を満たしている。常勤の役員が複数おり体制は整っている。充て職の役員は毎回取締役会に出席している。常勤プロパー職員がおり体制は整っている。	B 入場者数は前年度実績を上回り目標値もクリアしている。売上高及び顧客満足度が目標値に届かなかったため、B評価である。	C 単年度損益が赤字であり、累積債務があることからC評価である。

III 外部専門家のコメント

・H27年3月期の営業利益△23,883千円の要因は退職金（定年3名）の支払20,000千円が発生したことによるものであり、これを考慮すれば売上高がやや減少したもののコスト（売上原価・販管費）は前期並みであった。

・なお、当社は退職給付引当金を計上しておらず、将来的に発生が見込まれる退職金負担（退職給付債務）が貸借対照表に反映されていないため、今後もまとまった退職金支給が生じた年度で赤字決算となる可能性がある。当該債務についてはH27年3月末で6,723千円あり（H27年3月末時点の要支給額ベース）、欠損金残高を実態判断するにあたっては考慮する必要がある。

・利益剰余金等は△139,586千円（上記退職給付債務を考慮すれば△146,309千円）と繰越欠損であり、期間損益の水準に比して過大で解消には長期間を要することから、財務基盤は安定しているとは言えない。

・今後も引き続き収入源確保とコスト管理に努め、累積欠損を減らしていくことが望まれる。

・スポーツセンター事業の改善が課題。大口のリピーター確保や効果的な集客イベント等により、利用者の増加につながることを望まれる。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
B 三セクの行動計画では、民間委託が可能な事業を主たる事業とし非三セク化を目指す法人に位置付けられているが、公の施設の管理者として、県事業に一定の役割を持つことから、引き続きサービスの維持・向上を図っていくことが求められる。	A 適切であると認められる。	B オフシーズにおけるスポーツセンターやスキーハウスの利用が売上高に大きく影響することから、きめ細やかな誘客宣伝によるリピーターの確保など、集客に向けた一層の取組強化が求められる。	C 累積債務がある上に、退職給付引当金を計上しておらず、その支給が生じた場合、赤字決算となる可能性があるなど、財務基盤は安定していない。引き続き、綿密なコスト管理が求められる。

OH27年度重点取組法人に 選定 する しない